

# 印旛沼って どんな沼

～私たちに何ができるか、考えよう～



千葉県

# まえがき

印旛沼は、私たちのふるさとの沼です。

私たちの祖先は、沼の恵みを受け、また時には水害というきびしい現実と戦いながら沼とともに暮らしてきました。

そして現在、沼は私たちのとても大事な水源となっています。多くの人々の飲み水や、周辺の田畠のかんがい用水、東京湾岸などの工場で使う用水として使われ、また、水産漁場や人々の憩いの場ともなっているのです。

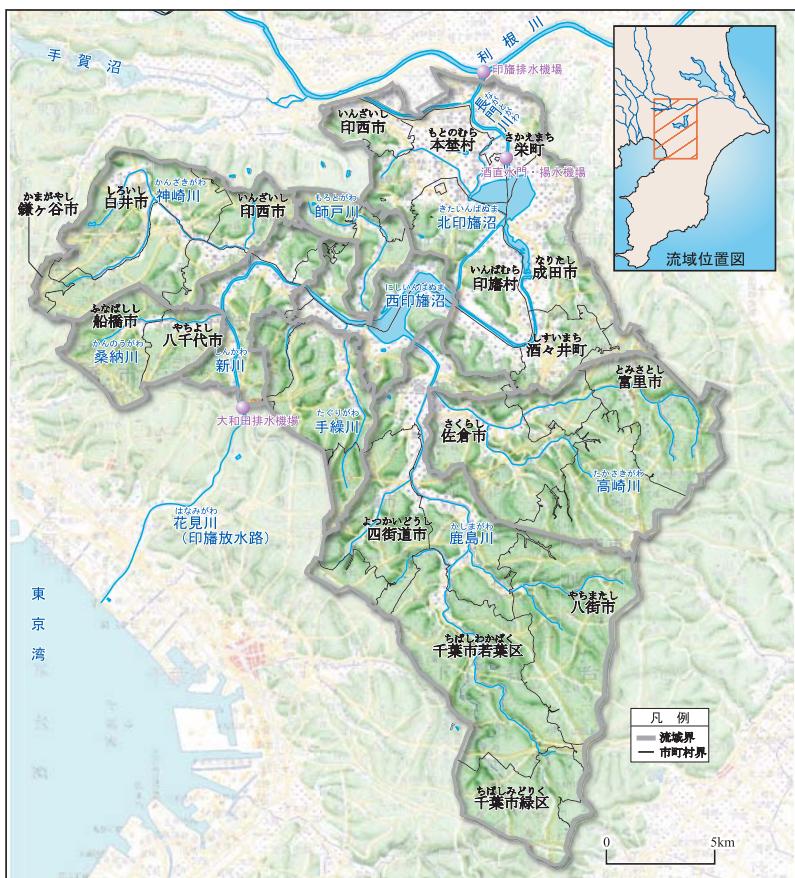
ところが、昔きれいだった沼の水が、今はとても汚れています。沼の中に多く見られた水草や、田んぼや川の生き物たちも大変少なくなってしまいました。

沼の水はどこからくるのでしょうか。

沼は静かで大きく、周辺は田んぼや林の緑に包まれ、山や水源地らしいところはありません。沼に流れてくる川をたどると、入り組んだ谷津があり、田んぼや畑があり、そして私たちがくらす住宅地や市街地があります。

そうです。私たちが住んでいるところが水源地なのです。そこから沼に流れ込んだ水を再びくみ上げて、水道水や農業用水などに使っているのです。

印旛沼や水源地のことを知り、生き物たちと出会い、きれいで豊かな沼を取り戻すために、私たちに何ができるか、みんなで考え方行動しましょう。



## 印旛沼の位置と特徴

印旛沼は、千葉県北部に広がる下総台地のほぼ中央にあって、東京から30～50kmの首都圏にあります。

沼の流域は、千葉県北部の中央に大きく広がり、15市町村（千葉市、船橋市、八千代市、鎌ヶ谷市、成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、印旛村、本塙村、栄町）がふくまれ、人口は約73万人です。

沼の総面積は11.55km<sup>2</sup>、貯水量1,970万m<sup>3</sup>、平均水深1.7mのとても浅い湖沼です。

注 流域：雨水がひとつの川や湖沼に集まつくる範囲をいいます。

# 目 次

<b>第1章 印旛沼の生い立ち</b>	.....	1 ページ
・沼や川の水は、どのようにして生まれるのですか？	.....	1 ページ
・沼の水は、どこからきてどこへいくのですか？	.....	1 ページ
・沼は、いつどのようにしてできたのですか？	.....	2 ページ
<b>第2章 印旛沼とその流域に住む人々のくらし</b>	.....	3 ページ
・沼のまわりで昔の人々は、どのようにくらしていたのですか？	.....	3 ページ
・昔の人々は、沼の水をどこへどのようにして流そうとしたのですか？	.....	5 ページ
・沼は、どうしてこんな形をしてるのですか？	.....	6 ページ
<b>第3章 印旛沼の水質</b>	.....	7 ページ
・沼の水は、何に使われるのですか？	.....	7 ページ
・沼の水は、どうして汚れているのですか？	.....	8 ページ
・沼の水をきれいにするには、どうしたらいいのですか？	.....	10 ページ
<b>第4章 印旛沼とその流域の生き物たち</b>	.....	11 ページ
・沼の水がきれいだったころは、どんな種類の水草があったのですか？	.....	11 ページ
・沼にいつどうして外国から来た生き物たちが、すむようになったのですか？	.....	13 ページ
・昔すんでいた生き物たちが、また沼に帰ってくるには、私たちはどうしたらいいのですか？	.....	14 ページ
<b>第5章 印旛沼を恵み豊かな沼に再生するには</b>	.....	15 ページ
・沼を再び恵みの沼とするためにはどうしたらいいのですか？	.....	15 ページ
・いま、沼とその流域の周辺で、取り組んでいることは何ですか？	.....	17 ページ
・いま、わたしたちにできることは何ですか？	.....	18 ページ

## 登場する家族・先生・友だち

